

WAKAYAMA CITY FILM COMMISSION

# 和歌山市ロケ地情報

発行：和歌山市 観光課 発行日：平成24年3月15日  
〒640-8511 和歌山市七番丁23番地  
TEL：073-435-1234 FAX：073-435-1263  
E-mail kanko@city.wakayama.lg.jp  
http://www.city.wakayama.wakayama.jp/fc/index.htm

## VOL.9

### 「ふるさと歴史ウォーク」 紀州徳川家ゆかりの地を歩く 和歌山・和歌山市

NHK



▲和歌の浦 干潟を背景に撮影

「ふるさと歴史ウォーク」は、関西2府4県の名所・旧跡を一般参加者とともに歩く視聴者参加型の紀行番組です。今回は、和歌の浦がロケ地として選ばれました。

紀三井寺を出発点に、番所庭園まで約8・5キロのコース。暴れん坊将軍でお馴染みの徳川八代将軍吉宗をはじめとする「紀州徳川家ゆかりの地」を参加者と一緒歩いたのは、元マラソン選手松野明美さん。また、講師役として和歌山市立博物館・館長の寺西貞弘さん、NHK和歌山放送局アナウンサー・田中寛人さんが、和歌の浦の歴史を分かりやすく解説しながら歩きました。普段は何気なく通り過ぎてしまいう和歌の浦も歩いてみると新たな発見と驚きの連続です。



ロケ当日は天候にも恵まれ、予定通り撮影が始まりました。「楽しく歩きましょう！」という元気の掛け声とともに最初の目的地、紀三井寺を目指してウォーキングがスタートしました。

「私は農業経験がなく、どのような格好が望ましいかわかりませんでした。それらしい衣装と、知人から借りた道具で農業のスタイルにしたところ、瀧川さんも同じ格好だったので親しみを感じました。夢のある番組に微力ながら関わった事に感謝します。」

「市内で行われる撮影にはエキストラの方々の協力があった初めて成り立つこともある。興味のある方は、是非エキストラに登録して下さい。」

「若の浦に 潮満ち来れば 湯を無み 葦辺をさして 鶴鳴き渡る」これは724年、聖武天皇の和歌の浦行幸に同行した万葉歌人・山部赤人が詠んだ有名な歌です。寺西館長の解説に耳を傾ける松野さん。放送では、インターバル撮影した干潮から満潮に移り変わる様子や空撮も加わり、自然が織り成す営みがより一層ダイナミックに伝わってきます。

一行は、観海閣、妹背山へ。多宝塔を見学した後、不老橋へ向かいます。次に玉津島神社境内にある山道を登り、饗俣山の山頂に到着。山頂からは、和歌の浦湾、そして海南藤白峠の美しい景色が眼前に広がります。



「キッズ・キッチンにおいてよ！」は児童が、「五感で学ぶ」をテーマに、地元の旬の食材を収穫し料理する姿を放送する番組です。

市民エキストラに登録していただいている子どもたちに協力して頂き撮影することになりました。

今回は「竹の子」を食材に番組を撮影しました。和歌山市南東部は、「竹の子」の産地でもあり、一年を通して様々な体験ができる「四季の郷公園」がロケ地に選ばれました。



撮影は竹の子の収穫シーンからスタート。竹の子を探す子どもたちの動きに、熟練したカメラマンの指がスピーディーにフォロー。オカスやフオロ、なにかやらしい影が・・・。今や全国にファンもいるというキャラクター「たけのこまん」の登場に、子供たちのテンションも上がります。

獲れたての竹の子を持って、クッキングスタジオの撮影場所である「はびりライフスクエア和歌山」へ向かいいます。スタジオとして使わせていただくキッチンサロンはカメラ、モニター、照明等が所狭しと配置されています。子どもたちに調理を指導してくださったのは、食育・料理研究家の坂本廣子先生。「竹の子」は、若竹煮、ブルーベリーソーダなど挑戦するのは計4品の料理です。自分達で収穫し、協力して作った料理を食べて撮影は無事終了しました。

## がんばっています！ 市民エキストラ

八木教授の転換期ともいえるこの出会いを、「和歌山で再現スチール撮影したい。」TBSから、市民エキストラの協力依頼が舞い込んだ。

撮影は、八木教授（蓬菜さん）ご本人の部屋にコメ農家の瀧川さん（岡さん）が訪ねるシーンからスタート。コメ農家の瀧川さんの体型に合わせて、おなかにタオルを仕込む等といった「着膨れ感」を出す演出の徹底感を抱いた。

「夢の扉」は、未来を切り拓こうと高き志と熱い情熱を持ち、頑張っている人にスポットを当てたドキュメンタリー番組。今回は和歌山を舞台に八木栄一和歌山大学教授を中心に番組が制作された。

民間企業で産業ロボットの開発に携わってきた八木さんは、「人間と共存し、人間を助けるロボットを作りたい」と和歌山大学教授に自ら応募した。和歌山大学システム工学部教授となった八木教授はコメ農家の瀧川さんとの出会いから「高齢化に悩む農家の人たちをサポートし、農業の衰退を止めた」という大きな使命を背負った。

底ぶり。撮影が始まって少し緊張気味の2人に對し、「いいですね」というディレクターやカメラマンの呼びかけが、二人の緊張を解いていく。

無事と歌山大学での撮影を終えた私たちは、日高川町に住む瀧川さんの田んぼへと移動し、分析に訪れたシーンを撮影。30キロのコメ袋をエキストラのお二人にも持ち上げてもらった。顔を真っ赤にしながら、持ち上げる姿を見て、当時の八木教授が農業アシストスーツ開発に尽力した想いが伝わってきました。



「エキストラインタビュー」 今回の撮影で見事大役を演じさせて頂いた市民エキストラ

「最後に」 「市内で行われる撮影にはエキストラの方々の協力があった初めて成り立つこともある。興味のある方は、是非エキストラに登録して下さい。」

「私は農業経験がなく、どのような格好が望ましいかわかりませんでした。それらしい衣装と、知人から借りた道具で農業のスタイルにしたところ、瀧川さんも同じ格好だったので親しみを感じました。夢のある番組に微力ながら関わった事に感謝します。」

「私は農業経験がなく、どのような格好が望ましいかわかりませんでした。それらしい衣装と、知人から借りた道具で農業のスタイルにしたところ、瀧川さんも同じ格好だったので親しみを感じました。夢のある番組に微力ながら関わった事に感謝します。」

「楽しい一日を送らせて頂きました。テレビに自分が映ることが夢のようで、言葉に表せない程うれしかったです。」

「私は農業経験がなく、どのような格好が望ましいかわかりませんでした。それらしい衣装と、知人から借りた道具で農業のスタイルにしたところ、瀧川さんも同じ格好だったので親しみを感じました。夢のある番組に微力ながら関わった事に感謝します。」

「キッズ・キッチンに  
おいでよ！ #27  
土の中からこのこ  
竹の子でクッキング！」

K-CAT  
eo光テレビ

2011年  
6月4日(土)~  
7月23日(土)  
放送

※ネットでも配信

「夢の扉」  
農業の負担を軽減！お年寄りを助ける「農業アシストスーツ」  
果実大國和歌山から農業の常識を変える！

TBS

2012年  
1月8日(日)  
放送



昨年夏、「友ヶ島の砲台跡を撮りたい」と観光課に一本の電話が入る。話を詳しく訊くと、レンガで建築された建物の特集を番組で取り上げたいとのこと。

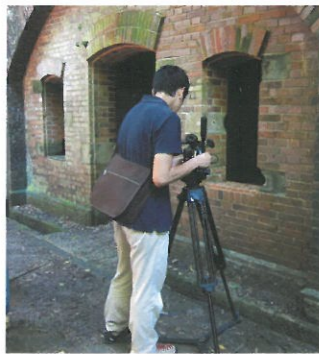


### 「ビーバップ!ハイヒール」 赤いレンガにドラマあり! 関西レンガ遺産ベスト7 友ヶ島の砲台跡



友ヶ島に残る旧軍の要塞跡はレンガで作られた物ばかり。今まで砲台跡は映画のロケ地として、また紀行番組で撮影されたこともあった。しかし、砲台等の建物にスポットをあてエピソードを紹介するなど初めてである。果たしてどのような番組になるのか興味をわいてくる。

ロケ当日、スタッフ4名とともに友ヶ島に渡り、島内を巡る。夏の暑い日差しの中、汗が噴出す。友ヶ島の野奈浦広場から最大の目的地である「第3砲台跡」までは約2・4kmのアップダウン激しいハイキング道。撮影機材を運ぶスタッフの苦労が思いやられる。



今回の撮影の中、特に苦労したのが島内に生息する動物の撮りだ。今、友ヶ島が紹介された時間は約5分あるかないか、一日かけて撮影したことを考えると番組制作に関わってくださったスタッフの苦労に感謝します。 (\*-) シュート・カメラを回し始めること。

影でした。「あっ、リスだ!」高い木を走り回るリスを見つけたら、カメラの電源を入れ、シート (\*-) した時には、望遠でも追えない所にリスの姿があるといった状況が続きました。カメラの性能、バッテリー、テープにも限りがある中で、最終、神経を失せながらの撮影は本当にお疲れ様でした! タイトルに「ベスト7」と謳われていることもあり友ヶ島の順位が気になりながら放送日を迎えました。結果は第6位。少し残念な気もするが、ほかにランキンソン、紹介された建物もエピソード豊富な建造物ばかりでした。

ABC

2011年 9月8日(木) 放送

次に和歌山市の伝統工芸品である紀州手まりの数少ない作り手である「紀州手まりの会」の青木瀑布美さん取材。「手が動く限りは続けたい。」一針一針、かがり糸で美しい模様を描く。かつてお嬢様が転がしてその色と柄の変化を見て楽しんでいた紀州手まり。美しく仕上げること。青木さんの「根気と丁寧さ」との想いが映像を通して伝わる。続いて、かつて和歌山城の一角に位置し、400年以上前に

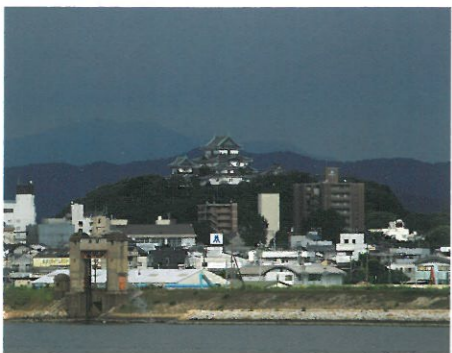


毎回、日本各地の街道を訪ね、街道にまつわる歴史や文化を紹介する番組。和歌山城を起点として紀の川に沿って、奈良県・五條へと続く大和街道が今回のロケ地。 まずは、万葉人も歩いた街道に残る嘉家作丁の家並みの撮影からスタートした。時代を越えて、国道24号線を行き交う車や人々の生活を見守っているかのような風情ある佇まいに歴史の重みを感じる。

### 「にっぽん歴史街道」 #28 大和街道 紀伊国・安らぎの里をゆく

BS-TBS

2011年 10月13日(木) 放送



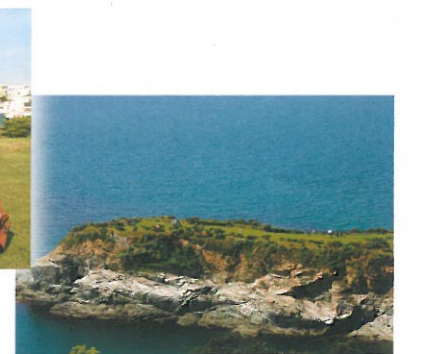
造られた吉宗ゆかりの庭園を有する料亭「あおい茶寮」へ。雨が降り一層の雰囲気を感じた。庭、敷地内に配された紀州の青石が艶を放つ。放送では雨も演出の一つと思えるほど美しい映像が流れる。雨のため撮影できなかった「和歌の浦」と「紀の川」を翌日に撮影しロケは無事終了しました。 映像に表現された和歌山市の美しい歴史風景の数々。皆様も巡ってみたいいかがですか。



昼休憩を挟み、歴史ウォークは後半へと突入。後半の最初に訪れたのは「関西の日光」とも呼ばれる紀州東照宮です。待坂と呼ばれる108段の階段を上り、極彩色の本殿を見学。「ドンドンドン...」遠くで鳴り響く太鼓の音。様子を見に行く、なにやら変わった棒を振り回す人達。毎年5月に行われる「和歌祭」の稽古をしているところでした。松野さんも加わり、元マラソン選手らしく、初めてとは思えないキレの良い踊りを披露してくれました。

参加者とお別れし、美しい夕日を背景に雑賀崎灯台で締めコメントの撮影。「辿りついた時の感動が忘れられない。」と松野さん。 この番組は関西で昨年6月3日放送、8月5日に全国放送され反響を呼びました。 皆さんも、一度歩いてみてはいかががでしょうか?

新鮮な海の幸を堪能した一行は、次の目的地、養蚕園へ。ここは、海水を取り入れた池が珍しい江戸中期の代表的な武家庭園です。園内をめぐり、殿様気分を味わった一行は最終目的地をめざします。 ラストを飾るのは紀州のお台場こと番所庭園です。鮮やかなグリーンの芝生が何とも終着点に相応しい。出発から約6時間。目の前に広がる紀伊水道を眺めながら参加者インタビュー。



### 和歌山市観光キャラクター「吉宗くん」プロフィール

名 前：吉宗くん (よしむねくん)

誕生日：10月21日

年 齢：年齢不詳

住 所：和歌山城内 (愛犬の「ハチ」以外は場所を知らぬ)

趣 味：ハチと一緒に和歌山市内の観光地巡り

好きな食べ物：和歌山のグルメ (特に和歌山ラーメンは大好物)

コメント：“ボクの名前は「吉宗くん」。ボクのず〜っと昔のおじいちゃん、かの有名な「八代将軍徳川吉宗公」。(おじいちゃん) 愛犬「ハチ」と一緒に和歌山市を案内するよ〜!”



和歌山市観光キャラクター「吉宗くん」登場!

平成23年10月に和歌山市の観光キャラクター「吉宗くん」が登場した。吉宗くんは県外でのキャンペーンやメディアへの出演、イベント参加など多忙な日々を過ごしている。昨年11月には、「めざましテレビ」ゆるキャラ天国のコーナーにも出演。多くの人々に愛される和歌山市の観光キャラクターとなるべく、目下奮闘中だ!